



▲飯櫃盆踊り大会にも参加したアレクサさん

飯館中学校の新しい英語指導手として、アレクサ・ソフィー・エリザベス・ドーマンさんが8月に着任され、2学期の授業から活動されています。皆さん、よろしくお願います。



私の名前は、アレクサ・ソフィー・エリザベス・ドーマンです。イギリス出身の23歳です。私は、テニスやバレーボール、バドミントン、水泳、スノーボードなどをするのが好きです。皆さんにお会いできて本当に嬉しく思います。この美しい村に私を迎え入れてくださった飯館村の全ての人々に感謝したいと思います。

大学では、歴史や政治を勉強しました。そして、これこそが私が日本に興味をもったきっかけです。勉強を通して、国としての日本について多くを学びました。しかし、日本の人々や文化については、ほとんど学びませんでした。ですから、私は日本にやってきました。そして、飯館村に住んでいることが本当に嬉しいです。

私は、すでに盆踊り大会に参加したり、太鼓をたたいたり、インディアカに参加できて、とても嬉しく思っています。私は、人々との関わりを通して日本の素晴らしい文化に触れることができるよう飯館村の活動にどんどん参加したいと思います。この地を美しくしているのは、景色ではなく、人々であると思うからです。

皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

アレクサ・ソフィー・エリザベス・ドーマン



子育て相談室 — お気軽にご相談ください —

三者面談

夏休みに入ると、どの中学校でも三者面談が行われます。全校生徒を対象にする中学校もあれば、3年生に限定しての中学校もあります。飯館中は3年生のみが対象でした。

この時期の三者面談は進路の相談が主になります。中学校の先生方（飯館中の先生方とは限りません）によりますと、最近の傾向として、「どこの高校を考えているか」と尋ねると、「子どもに任せている」と答える親が多くなったとおっしゃいます。

どこの高校に進むかで人生が決まると言ってもよいほど、高校の選択は重要です。それなのに、「子ども任せ」ばかりにしておいてよいのか、というのが先生方の言い分です。

飯館中の三者面談の状況はいかがだったでしょうか。親さんたちはわが子の能力や適性を正しく理解して相談相手となり、わが子が意欲的に立ち向かう進路の方向を見定めさせることができたでしょうか。子どもはどんなときでも親を信じ頼りにしています。親はわが子の信頼に応えなければなりません。

飯館中学校スクールカウンセラー

海野 和夫